

(園長室だより) 109周年
令和7年6月23日 第205号

HPのQRコード→



「思い→体験→表現」は、幼児、児童、生徒に一貫する遊び学びの基本！

☆この土、違うんだよ☆

天気の良い日に子供たちは、園庭に飛び出し、それぞれやりたい遊びを見つけて夢中になって遊んでいます。砂場で水を流して川を作ったりダムを作ったりして遊んでいた子供が、「ねえ、この土と違う土があるんだけど、見たい？」と声を掛けてきました。もちろん「見たい！見たい！どこ？」と聞くと、園庭の排水のグレーチング近くの土（雨が降ると園庭の雨水と土がそこに流れてきます）のところまで連れて行ってくれました。そこには、ここ2、3日の晴の天気ですからびてバリバリになっている土がありました。その子は、その土にペットボトルに入れた水をバシャバシャとかけました。そして、水を吸い込んだ土を手で混ぜ合わせ、手に取って見せてくれました。「ほら、とろとろでしょう。砂場はガチガチなの。砂場の土はね、石が入っているんだよ」確かに小さな石が集まっています。「このトロトロの土と同じ土が他にあるんだよ」と、今度は「チョコ山」（盛土）につれて行ってくれました。ちょうど他の子供たちが、「チョコ山」の上で水を流して遊んでいました。その子は、水に濡れた土を取って「ほら、トロトロでしょ。同じだよ。水じゃあなくて土が違うんだよ」と教えてくれました。

その子は、土が水を含んだときの状態で比べて、同じか違うかを見極めていました。経験をもとに乾いた土にわざわざ水をかけて条件を同じにするということを自然と行っていました。そして、手の感触で「トロトロ」「ガチガチ」と表現し、砂は小さな石が入っているという粒の大きさにも気付いています。子供たちは、夢中になって遊んでいる中で、いろいろと試したり確かめたりして、物の特性や法則性に気付いたり、それを先生や友達に話しながら言葉で伝える力を付けたりしています。

子供たち自身は、遊ぶ中で何を学んでいるのかは意識していません。夢中になって遊んだ結果、様々な体験をして学んでいます。この学びは、遊びの中で自覚していないという意味では「無自覚な学び」と言われますが、そこで体験し身に付けた力は、小学校以降の学習課題を意識した「自覚的な学び」につながっていきます。子供たちにとって、遊びは学びなのです。

でペ
水ッ
をト
かボ
けて
テル

ト
ロ
ト
ロ
だ
よ



6月の子供たち



運動会 まつ組は、高田幼稚園伝統の竹太鼓を演奏しています。今年は「宇宙戦艦ヤマト」です。(ヤマトではなくヤ、マツ)



運動会 夢中になって海の世界を作って遊んでいたもも組とうめ組のダンスは「ベビージャーク」。自分で振付けを考えました。



バス遠足 消防署で訓練の様子やいろいろな消防自動車を見ました。水が出るホースを持たせてもらいました。



バス遠足 リージョンプラザで大きなシャボン玉の中に入りました。施設内の展示物を見たり外庭で遊んだりしました。



砂場で砂風呂 砂の重さや感触等を楽しんでいる子。「湯加減はどうですか？」の声が聞こえそうです。異年齢の交流もたくさん見られます。



アリの巣 昆虫大好きなまつ組の子供たち。たくさんのアリが出たり入ったりしている様子を興味深く観察しています。